

1 科目名（教科）	現代の国語（国語）	6 教科書名
2 講座名	現代の国語	高等学校 標準現代の国語（第一学習社）
3 開講学年	1	7 使用教材
4 履修区分	必修	高等学校 標準現代の国語学習課題集（第一学習社）
5 単位数	2	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） 新演習現代文アチーブ1四訂版（桐原書店）

1 科目の目標・学習内容

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・方法

評価の観点		観点の趣旨	具体的な評価方法
【知】	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	定期考査・単元テスト・小テスト
【思】	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	ワークシート・提出物・発表
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方感じ方、考え方を深め合ったりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	課題・提出物・授業に参加する姿勢

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	スピーチで自分を伝える	聞き手にわかりやすく伝える方法を理解し、実践する。 話し手のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。	5	・自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し実践する。 ・言葉を通して積極的に他者に話したり、他者の話を聞こうとしたりしている。	【思】	発表
					【態】	評価シート
5	情報源の明示	引用の目的と方法について学ぶ。	2	・引用の目的と具体的な方法、その効用について理解している。 ・根拠の示し方を考えて、文章の構成や展開、表現を工夫することができる。	【知】	ワークシート
					【思】	ワークシート
	（図書館ガイダンス） 文章を読み、自分の考えを論述する 『なぜ本を読むのか』	筆者の考える読書の効用について理解し、自分の考えを書く。	6	・情報と情報との関係（主張－論拠、個別－一般）を理解する。 ・根拠の示し方や説明のしかたを工夫し、自分の考えを的確に伝える。 ・個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	【知】	ワークシート
6					【思】	作文
					【態】	話し合い
6	情報の信頼性を吟味する	図書委員会のポスター内容を検討し、必要な情報の確かさと適切さについて考える。	4	・情報の信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 ・必要な情報を整理して書こうとしている。	【思】	ワークシート
					【態】	活動の観察
6・7	内容と構成を把握する 『人はなぜ仕事をするのか』	本文の構成と内容をとらえ、筆者の仕事観について考察する。	6	・比喻や例示などの修辞の効果を理解する。 ・筆者の仕事観を読み取り、自分の意見や考えを論述する。 ・筆者の仕事観について読み取ったことを説明しようとしている。	【知】	ワークシート
					【思】	作文
					【態】	話し合い
7	論理的な表現1	論理的に表現するための主張と理由の関係性や妥当性について知る。	4	・文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 ・根拠の示し方を考えて、文章の構成や展開、表現を工夫している。 ・他者と自分の表現を照らし合わせ、より良い表現のしかたについて考えている。	【知】	ワークシート
					【思】	作文
					【態】	リフレクションシート

8 ・ 9	対比を用いた文章の特徴と効果を理解する 『水の東西』 『「間」の感覚』	対比を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論述する方法を学ぶ。	10	・文章の効果的な接続のしかたや比較について理解する。 ・比較を用いて自分の考えや事柄を説明している。 ・積極的に題材を探し、比較を用いて自分の考えを表現しようとしている。	【知】 【思】 【態】	ワークシート 発表 活動の観察
10 ・ 11	実用的な手紙文の書き方	依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。	5	・実生活に必要な語彙を増やし、その用法、表記の仕方を理解し活用している。 ・情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・説明や表現方法を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。	【知】 【思】 【態】	ワークシート 手紙（文書） 活動の観察
	情報を関連づけて理解する 『黄色い花束』	文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈する。	7	・コンボの話題と筆者の子供時代の話題との関係を把握し、子供たちに対する筆者の思いについて理解を深める。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・戦争や紛争について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	【知】 【思】 【態】	ワークシート ワークシート リフレクションシート
12	要約をする1 （具体と抽象） 要約をする2 （推論）	事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ。	6	・要約のルールを理解し、文章の構成や表現を工夫している。 ・論理の展開を分析し、要旨をまとめようとしている。	【知】 【思】	要約文 活動の観察
1 ・ 2	プレゼンテーションをする （理想の修学旅行をプレゼンする）	情報を整理し、聞き手にわかりやすく提案する方法を学ぶ。	7	・情報をわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し実践する。 ・協働して資料を作成し、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。	【思】 【態】	プレゼンテーション プレゼン資料
	社会に対する意見文を書く （新聞活用）	自分の経験の中から意見を導きだし、表現する。	4	・意見文の書き方を理解し、実社会の中から適切な題材を決め、伝えたいことを明確に表現している。 ・集めた情報の妥当性や信頼性を吟味し、表現しようとしている。	【思】 【態】	意見文 活動の観察
3	合意形成のために話し合う	実生活の話し合いの進め方を理解し、実践する。	4	・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら話し合っている。 ・相手や目的、場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。	【思】 【態】	活動の観察 リフレクションシート

4

単元テスト

・単元ごとの評価規準に従い、観点別に評価する。

・読むことに関する指導事項（本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続のしかた等の理解を含む）と、書くことに関する指導事項の一部の評価は、小テスト・単元テスト・定期考査を用いる。

5

その他

・定期考査は、学んだことをもとに初見の文章を用いて出題することがある。